

瑞穂市の未来を語ろう！ ワールドカフェ 実施報告書

1 開催概要

目 的 市では、平成28年度から始まる瑞穂市第2次総合計画の策定に向けて、市民の皆さんと共に進める計画策定の取組（未来を共有する場づくり）の一環として、市民の皆さんが感じる瑞穂市の魅力や未来のまちづくりについて話し合う、「瑞穂市の未来を語ろう！ワールドカフェ」を開催するもの。

日 時 平成26年12月14日（日）
 ① 午前の部 9：30～11：30
 ② 午後の部 13：30～16：30

場 所 瑞穂市総合センター 5階 会議室

参加者 ①20人 ②11人 （合計33人）

2 内 容

大テーマ 「瑞穂市の未来を語ろう」

第1ラウンド（テーブルごとの話し合い）

グループテーマ

「自己紹介＋いままであなたはまちづくりにどんな関わり方をしてきましたか？」

第2ラウンド～第3ラウンド（テーブルごとの話し合い）

グループテーマ

「瑞穂市の未来にどんなまちづくりの関わりがあったらいいと思いますか？」

シェアリング（共有）

3 実施内容

4名1グループを基本としたテーブルグループでの話し合い、テーマは「瑞穂市の未来」と「まちづくりへの関わり」について

（ワールドカフェ（話し合い）のようす）



- なんとなく暮らせるまち
- もっと住みよいまちに
- 夢のあるまち
- ゆったりとすごせるまち
- 夢・未来 ○全てが希望
- 多様 ○関心
- 目的を持ってスタート！
- 女性・若者の活躍
- 情報提供とPR ○若い人との話し合い
- 老若男女の意見交換
- まちづくりはひとづくり世代間を越えて交流を
- 災害のないまち ○助けてもらえるまち
- 繋がり繋がる ○参加と和づくり

5 分かち合い（シェアリング）

- ・瑞穂市はなんとなく暮らせるまちだが、これからの将来を考えることは必要
- ・もっと住み良いまちにすれば、もっと人口も増えるのでは
- ・話し合いの場がないので、話し合って夢が持てるように
- ・何か困ったときに「助けて」と言えるまちに
- ・ゆったりと過ごせることを幸せと気付けるまちになってほしい
- ・縦にも横にも繋がりが大切
- ・自治会などの活動に関心をもつことが必要
- ・世代間交流と若者の意見を聴くこと
- ・瑞穂市は災害のないまちなので希望が持てる
- ・福祉ボランティアなど地域活動を実践しているが、人数不足で組織も不安定
- ・環境対策などできることからやっていきたい

（シェアリング（共有）のようす）



6 ワールドカフェに参加した感想（アンケート結果）

1. 満足度（個人％で表記）
平均満足度（82.0％）
2. 「ワールドカフェ」という対話の手法の認知度
 - ・参加したことがある（6人）
 - ・名前だけ知っていた（6人）
 - ・知らなかった（11人）
- 3 思ったことを言えましたか？
 - ・充分言えた（3人）
 - ・言えた（16人）
 - ・あまり言えなかった（2人）
 - ・どちらでもない（1人）
- 4 その他感想や、今後参加したいテーマ
 - ・若い人たちとの意見交換
 - ・雑談しながらテーマを決めていくのも良いのでは
 - ・行政に対する要望の話し合い
 - ・地域の対話
 - ・住民参加のきっかけづくり
 - ・若者は未来をどうしたいか
 - ・ファシリテーター養成講座
 - ・子育て支援について
 - ・瑞穂のまちづくり、地域づくり
 - ・議員の有り方

＜アンケートへのご協力ありがとうございました。＞

「瑞穂市の未来を語ろう！ ワールドカフェ」を開催

瑞穂市総合センターで、12月14日（日）次期総合計画策定に向けた市民参画の一環として、「瑞穂市の未来を語ろう！ワールドカフェ」を開催しました。

午前午後の2回で、市民33人が参加し「瑞穂市の未来」や「まちづくりへの関わり」などをテーマに意見を交わし「まちづくりにどんな関わりをしてきたか？」、「どんな関わりがあったらいいか？」の問いでの議論では、「まずは幅広い世代が交流し意見交換すること」や「身近にできることから始める」などの意見が出されました。

話し合いの最後に参加者の意見や感想を発表する場では、「瑞穂市はなんとなく暮らせるまち、そこから一歩でも進むことが必要」などの感想が発表され、まちの未来への想いを共有しました。

まちづくり基本条例（H24 施行）の基本理念を普及、推進する有識者や市民、大学生（2名）などで構成する「まちづくり基本条例推進委員会」（朝日大 中村良会長）では、「これからのまちづくりにはより多く市民から多様な意見の掘り起こすため、市民間の対話の場は必要」などの提言がなされ、今回のイベント開催が実現しました。

<ワールドカフェ（話し合い）のようす>



<シェアリング（共有）のようす>

